

1.8 岩瀬文庫（国語分野）

(1) 研究開発の概要

岩瀬文庫は、明治41年西尾市の豪商岩瀬弥助が私財を投じ、独力で設立した私立図書館が始まりで、今年創立100周年の歴史を持つ文庫である。重要文化財の指定を受けた資料をはじめ、古典籍から近代の図書、日本ばかりでなく中国や朝鮮のものまで、蔵書数8万点余、孤本、稀覯本も多く、最初から図書館の開設を目的として蔵書を購入したため、あらゆる分野の資料がそろっている。

今回の研究では、岩瀬文庫所蔵の写本、木版本の実物にふれ、わが国の書籍文化の歴史について学び、古典籍についての理解を深めることを目標とした。文庫の学芸員、神尾愛子先生に詳しい解説をお願いした。終了後、参加者にアンケートを実施した。

(2) 仮説（ねらい、目標）

ア わが国の書籍文化の歴史について理解する。

イ 本の装丁（卷子本、折り本、粘葉装など）について学び、古典籍を実際に手にとって閲覧することによって、当時の書物のあり方を理解する。

ウ 蔵書を保護するための中性紙保存箱を作成することによって、書物を大切にしてきた先人の思いを理解する。

(3) 研究の方法および内容

ア 対象生徒 希望者35名

1年	男子3名	女子11名	（計14名）
2年	男子3名	女子6名	（計9名）
3年	男子2名	女子10名	（計12名）

イ 実施日程 平成21年8月6日（木）

ウ 実施場所 西尾市岩瀬文庫（西尾市亀沢町480）

エ 実施内容

(ア) 岩瀬文庫について

a DVD鑑賞……岩瀬文庫の歴史について

b 蔵書について解説（学芸員 神尾 愛子先生）

(イ) 常設展の解説と見学

a 日本の書物の文化と歴史について、展示物を見ながら学芸員の先生に解説をしていただいた。

b 卷子本、折り本、粘葉装本など、様々な装丁の古典籍の扱い方について、レプリカを用いて学び、実際に扱わせていただいた。

(ウ) 企画展の解説と見学

企画展示されている「秘伝の書」について、展示物を見ながら学芸員の先生の解説をお伺いした。

(エ) 古典籍の閲覧

午後は、事前に生徒が閲覧を希望していた古典籍を拝見させていただいた。『源氏物語』『住吉物語』『本草図説』『道成寺絵巻物』『〈女子風俗〉化粧秘伝』など、直接手にとり覧させていただいた。

(オ) 書籍保存箱の作成

岩瀬文庫では、ボランティアの方々の手によって、書籍を保護するための中性紙保存箱を作成し、収納するということが行われている。今回は、ボランティアの方からご指導を受け、その体験をさせていただいた。



保存箱作成の作業の様子

(カ) 旧書庫の見学

大正時代に建てられたレンガ造りの岩瀬文庫旧書庫（国登録文化財）の内部見学をさせていただいた。通常は非公開である。

(4) 検証（結果と反省）

ア アンケートの結果

- | |
|---|
| ○レプリカによる古書の扱い方について |
| ①十分理解できた(23) ②概ね理解できた(12) ③あまりよく理解できなかった(0) |
| ○企画展（秘伝の書～ヒミツナノニハワケガアル～）解説と見学について |
| ①よかった(17) ②概ねよかった(18) ③あまりよくなかった(0) |
| ④期待はずれだった(0) |
| ○旧書庫の見学について |
| ①よかった(24) ②概ねよかった(10) ③あまりよくなかった(1) |
| ④期待はずれだった(0) |
| ○「古典籍の実物に触れる」について |
| ①よかった(31) ②概ねよかった(4) ③あまりよくなかった(0) |
| ④期待はずれだった(0) |
| ○保存箱の作成について |
| 文化財を保存するという作業が |
| ①十分実感できた(26) ②概ね実感できた(9) ③あまり実感できなかった(0) |
| ○今回の研修に参加して、 |
| ①よかった(27) ②概ねよかった(8) ③あまりよくなかった(0) |
| ④期待はずれだった(0) |

イ 生徒の感想

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・本物に触れて楽しかった。もっと仮名を勉強して解読したい。(3年女)・ふだんならできない体験ばかりですごく楽しかった。特に本物の古書にふれたことがとても感動した。じかにさわってめくって間近で見ると、昔の人の息づかいのようなものも感じられてぞくぞくした。それぞれ本によって紙の種類が全然違って、これは比べてみないと絶対にわからないのでとても貴重な体験だったと思う。“本物”にさわってしまったら、出版されている図録なんてたいしたことなく感じてしまうなと思った。(2年女)・感動の連続でした。古書に触れるという貴重な体験がとても心に残りました。古書の手ざわりに時代の流れを感じました。保存箱の作成も魅力的だと思います。(2年女)・古書とはいっても、今に通じるものも多く、とても面白かったです。古いメイク法など、人々が関心を持つものは変わらないんだな…と思いました。実際に古書に触ったり、書庫に入ったときはとても感動しました！来て良かったです。(1年女) |
|--|

ウ 今後の実施に向けて

(ア) 生徒のアンケート、感想からも大変有意義な研修であったと考える。次年度も可能であれば継続したい。

(イ) 保存箱の作成に45分ほどかかったため、〔旧書庫の見学〕〔古典籍に触れる〕〔保存箱の作成〕と三つの研修内容をA班（1年生）B班（2年生）C班（3年生）が順繰りに回る際にタイムラグが生じてしまった。柱や壁にプリントされている本の写真を探検させるなど、旧書庫の見学には何らかをプラスしておく必要がある。

(ウ) 保存箱の作成に時間がかかったことに加え帰りの渋滞もあったために、学校到着が予定よりも1時間近く遅くなってしまった。昼の時間を短縮する必要がある。